



会計報告

平成16年4月～平成17年3月末までの会計収支決算は下記の通りとなりましたのでご報告致します。

収入	金額	支出	金額
繰越金	9,578,114	同窓会記念品	33,390
同窓会費(保35期・教16期)	620,000	同窓会名簿作成	105,000
同窓会費(過年度分)	8,000	同窓会報印刷発送一式	662,142
バザー売上金	162,970	同窓会懇親会費用一式	261,975
同窓会懇親会費	197,000	バザー・サロン関係経費	33,490
寄付	12,000	東京支部へバザー関係経費他送金	275,752
利息(定額貯金満期利息含む)	1,076,774	会議費	10,946
		短大自治会へ寄付として	20,000
		紫友会札幌支部出張経費	20,600
		通信費(ハガキ・切手・郵送料)	44,890
		その他(消耗品・コピー代等)	22,196
(イ) 計	11,654,858	(ロ) 計	1,490,381
収支差引次期繰越金	¥10,164,477	(イーロ)	

1期生～14期生までの卒業生の方で、終身会費を納入する場合は、郵便局に備え付けの振込用紙にて郵便振替でお願い致します。口座番号は次の通りです。

・口座番号 02750-6-16739

・口座名 文化女子大学室蘭短期大学同窓会

尚、振込みの際には、振込用紙の通信欄に宛名シール下に記載の「通し番号」を必ず記入していただきますようお願い致します（この番号は卒業証書の番号と異なることがあります）。その他ご意見、ご質問等ございましたら、併せてご記入下さい。

地球規模でこの一年間またも大災害に見舞われました。日本においては昨年十月の新潟中越地震、十二月にはスマトラ沖地震による大津波が起きたことは記憶に新しい。この大津波による犠牲者は二万人以上の死者と今なお三万人以上の不明者がいるとのことです。両親を亡くした多くの子ども達。これらの将来に心が痛みます。日本では地震と津波は一体のものと考えている

が、所が変れば意識も違うものですね。海で楽しんでいた人々は誰一人として津波がくることを予測していなかつたようですが、「T SUNAMI」が国際語になつてゐるそうです。人も家も車も樹木もすべて海に呑み込まれてしまい、テレビに映し出される映像を見ながら唖然としたのを覚えています。十月の新潟の地震の時、私はちょうど友人とヨーロッパを旅行中でした。日本で何か大きな地震があったようだと解ったのは地震発生後三日位たつてからでした。「これが室蘭だったら」

同窓会会長 下澤 和枝（旧姓 小室）保1

温故知新



第 21 号
発行 平成 17 年 9 月 25 日
発行所 文化女子大学室蘭短期大学同窓会
室蘭市高砂町 3 丁目 11-50
印刷所 株式会社 アイワード

と何も知らない自分にゾーとしました。今なお東京でも、いつ起きてもおかしくないという状況があることに、自分の息子が毎日危険と背中合わせで暮らしていることに、祈ることしかないもどかしさを覚えます。

さて前述のヨーロッパの旅でいくつかの世界遺産を巡りました。古い町並みや中世の城を歩いて、そのまま残し、今なお使っていることに驚かされました。今、そこには、そのまま残して、今なお使っていることに驚かされました。今、私が立っている石畳の一つ一つが中世の騎士たちもここを踏みしめていたことを思うと不思議な気持ちでした。ドレスデンの城などは黒くなつたお城の修復は、今年度から今までの教養学科からコミュニティ総合学科へと学科転換しました。同窓会に学部転換しました。同窓会と致しましても P.R. に努めて行きました。日本で何か大きな地震が起きたと思っています。皆さま



主事 水野

隆

溢れる緑と若い力と

ずっと住み慣れた部屋でしたから、いざとなるとついぶん寂しい思いがしました。新しい研究室は何倍も広くて、窓からは驚別の海が見えていますが、なぜか落ち着けません。その広さやきれいでまだじっくり来ないので、まだじっくり来ないです。時々間違つて元の研究室に行きそなります。

文短は今、何もかも新しく生まれ変わろうとしています。それを見ると、緑溢れる現在の風景がほとんど原先生の尽力によるものだということが分かります。しかし、年数が経つて大きく成長した木木やイチヨウや、たくさんの種類の木が、それぞれ大きく倒れ、改めてその大きさにびっくりしました。ニセアカシアだけでなく、校舎の周りにはシラカバやナナカマドや桜並木など、そのままで出来れば少しでも減らすことが出来るのではないかと思っています。

昨年秋の台風で正門通学路脇のニセアカシアの大木が倒れ、改めてその大きさにびっくりしました。ニセアカシアだけではなく、校舎の周りにはシラカバやナナカマドや桜並木など、そのままで出来れば少しでも減らすことが出来るのではないかと思っています。

話は変わりますが室蘭短大で成長して鬱蒼とした林になつていますが、そのほとんどは、種類の木が、それぞれ大きく倒れたり、シラカバは折れたりする危険性があるそうで、そういう前回立っている石畳の一つ一つが中世の騎士たちもここを踏みしめていたことを思うと不思議な気持ちでした。ドレスデンの城などは黒くなつたお城の修復は、今年度から今までの教養学科からコミュニティ総合学科へと学科転換しました。同窓会に学部転換しました。同窓会と致しましても P.R. に努めて行きました。日本で何か大きな地震があつたようだと解ったのは地震発生後三日位たつてからでした。「これが室蘭だったら」

ずつと住み慣れた部屋でしたから、いざとなるとついぶん寂しい思いがしました。新しい研究室は何倍も広くて、窓からは驚別の海が見えていますが、なぜか落ち着けません。その広さやきれいでまだじっくり来ないので、まだじっくり来ないです。時々間違つて元の研究室に行きそなります。



We had fun!



附属幼稚園だより

附屬幼稚園園長 藍原佳子

名の新入園児を迎えた三十回目の入園式が行われました。第七回目の入園式から職員として子ども達と共に過ごしてきましたが、この節目ともいえる記念の年に園長という大役を任されることになりました。前園長の水野隆先生は、入園式は勿論のこと、時々園を訪れて子ども達との時間を過ごしていって下さっており、子ども達はそれ程の変化と感じずに入園式に過ごしています。

そんな年の入園式に、母となつて我が子と共に門をくぐった卒園生がいました。今まで卒園した小学生

新しい制服を着て中学生や高校生が訪れたり、社会人となつて活躍している事を報告に来る若い卒園生がいましたが、今年は一期生、二期生、三期生、四期生、五期生、二期生の卒園生母が揃いました。それに加えて、四名の短大同窓生が母親となり今附属幼稚園に関わっています。(こちらは、二十一期、二十二期、二十三期、二十七期生です)このニュースは幼稚園にとって、園の歴史を感じられる嬉しい事でした。そしてこれは教師としてもとても嬉しいものであり、さつそく関係していた元職員にメールや

クラスや、預かり保育などの事も行われています。また、短大教育科の先生方との連携も強まつて、実習のあり方も少しずつ時代と共に変化してきているようになります。開園当時はどのくらいだたのか…?門から玄関への道側にある白樺は年老いてきた。うですし、学校に通ずる道の側にある木々は、空を隠してしきほど大きくなりました。園庭の桜の木も毎年たくさんの花をかせていました。

郵便で知らせ、十数年ぶりの対面が果たせたものもありました。ひと昔前と比べると園児数がずいぶん減りましたが、あの頃にはなかつた未就園児の親子登園クラスや、預かり保育などの事業も行われています。また、短大保育科の先生方との連携も強まり実習のあり方も少しづつ時代と共に変化してきていくようになります。開園当時はどのくらいだったのか…？門から玄関への道の側にある白樺は年老いてきた上うですし、学校に通ずる道の両側にある木々は、空を隠してしまふほど大きくなりました。園庭の桜の木も毎年たくさんの花を咲かせています。

二十回迄無金利、特典色々アリ。
これはチャンス！ 娘の居る札幌に
車で行こう。今日荷物が届いた。
梱包を開けて唖然。この沢山のコードや差込はナニ？ ダイバーシティ
キットってナニ？

私、自慢ではないが機械オンチ
です。即返品、残念！

あっ言い忘れました。教え子の
皆さん、ゴメンナサイ。私は音痴です。

な車に付いて行つたら車庫に入つてしまつた。見知らぬデパートでは入つたところから出られない。二股に分かれる道は嫌いだ。いつだって反対方向に走つてゐる。帯広で美術館への道を尋ねた。若者は「北です」と言つた。それも判らないから聞いたのに。私は地図の読めない女。

今年も開催！バザーサロン



文大祭期間中に「文短を元気にする会」の主催で行われるバザー＆サロンは今年で三回を迎えます。今年も11月5日(土)6日(日)の両日、行います。

バザーではエプロン、トートバック、ランチョンマットなど手作りで心温まる作品が並び大変好評を頂いております。サロンではコーヒーorジュースを学生模擬店からのクッキーをセットにして百円での販売です!! お買い物の後はサロンでコーヒー片手にタイムスリップしてみませんか? 懐かしい時間が流れますよ。是非、遊びにいらして下さい。お待ちしております!! 尚、収益金の一部は自治会を通じて学生の皆さんに役立てて頂いております。



「元気にする会」からの お願い

会ではバザー＆サロンへの参加協力を
お願いしています。

バザー作品（手作り品なら何でも）を力
ンパしてくださる方、当日販売などのお手
伝いをして下さる方、どの様な形でも結構
です。

活動の輪を広げ、一層楽しい会にしていきたいと考えています。
隔月の第3土曜日例会を行っています。

そちらへの参加もお待ちして
連絡先・石井（保3期）

TEL 0143-86-3182

らなかつた、バードカービングの製作へ進んでいきました。卒業して、もう三十年になりますが、今でも、鮮明に覚えている

迷惑していませんか？
かけていませんか？

最も手身近で手軽なものが同じく苦情が相次いで寄せられています。



編集後記

の知らせ 同窓会の短大窓口が伊藤好恵さんから清水桂子さんになりました。

文短を元氣にする会でこの会期
「すみれ」を作成しております。
卒業後二十年、三十年以上の方々
多いのですが若い方々の参加もほ
びかけ、バザー等のお手伝いもし
ていただきながらもつともつと幸
短を盛り上げたいと願い活動して

おります。（私事ですが、親の説得の甲斐あって今うちの娘二人が文短の学生としてがんばっています。）原稿等でご協力いただいた方々本当にありがとうございます。これからも懐かしい話や、お問い合わせ等を伝えていきますのでご協力よろしくお願ひ致します。

記憶に残ること

太田久美子(旧姓福田)

場面があります。当時あまり真面目な学生とはいえず、時々授業をさぼっていましたが、生物の原版を次先生の野外授業で、自然観察に出かけた時、きっと単純に外に

るのが楽しかったのかも知れませんが先生が突然、地面の土をすくいあげ、「ミミズのいる土はいい土です聖なる大地です」と本当に愛おしそうに土に接する姿を見たのです自然に対して、こんなに強い思いを持っている大人がいることに、新鮮な驚きを覚えました。鳥や植物に出会う事の多い今、ふと懐かしいお顔を思い出していました。